

12月4日(月)

新 し い も の

聖書朗読 使徒 17:19～31

「あなたの語っているその新しい教えがどんなものであるか、知らせていただけませんか。私たちにとっては珍しいことを聞かせてくださるので、それがいったいどんなものか、私たちは知りたいのです。」
使徒 17:19～20

新しいものには、独特の雰囲気があります。新しい車、仕事、学校、家、赤ん坊、ステレオ、テレビなどです。新しいものは、他のものと比べられない可能性を持っています。事実、私は新しい車の香りを楽しんでいます。あなたは、何か新しいことや、それがあなたの中から引き出してくる感覚を考えることが出来ますか。

一方、アテネにおいて、使徒パウロは、何か新しいことを聞きたがっていた哲学者たちと戦いました。事実、それらが彼らの耳に珍しかったので、彼らはパウロのメッセージを聞くことを喜んでいました。しかし、彼らが聞きたがっていたことは、パウロが語ったことではありませんでした。

今日でも違いはありません。世界はいつも新しいことに耳を傾け、また騒ぎ立ちます。不幸にして、それは福音ではありません。パウロは、「私たちが注意をはらうべき価値のある新しいことは、ただキリストだけだ」と結論づけました。

他のすべてが失敗しても、キリストだけは残ります。喧噪の中にあっても、私たちの船がキリストに従って、変わることもない永遠の真実の救いの港に入れますように。

私たちはすべての嵐を安全に通り抜けます。
私たちの心が正しく、私たちの思いが熱く、
私たちの勇気が強く立って揺り動かず、
私たちの信頼があなたに強く結びついていさえすれば

—— フランシス セール

聖歌 521

祈り 親愛なる神様。一生の旅路において、あなたの永遠の真実から離れないように私たちを助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ダニー・タダンカン
オハイオ州 トレドール

今日の力

2017年12月4日～12月10日

今回は編集の都合上、以前に配布されたものから再編集してお届けいたします。

編集 岩田 欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月5日(火)

もっと近くに，もっと

聖書朗読 マルコ 12：28～34

イエスは、彼が賢い返事をしたのを見て、言われた。「あなたは神の国から遠くない。」
マルコ 12：34

最近、私と妻のジュディーは一生に一度という旅行に行きました。私の二人の従兄弟がイスラエルとギリシヤへのファースト・クラスの特別なツアーに私たちを招待してくれたのです。でも、もうちょっとで、飛行機に遅れるところでした。私たちがターミナルに到着した時には、私たちのフライトがキャンセルされていたのです。私たちは必死になって、違う航空会社に行きました。こんなことはたった一度だけでしたけれども。

イエス様はこの律法学者をほめるお気持ちと諫めるお気持ちの両方から言われました。『あなたは神の国から遠くない。』 遠くにいるよりは、近くにいたほうがいいでしょう。しかし、近づくだけでは、何度近づいたとしても十分ではありません。大体立派であるよりは、立派であるほうがいいでしょう。あることに欠けているよりは、あるところまで完成するほうがいいでしょう。

なぜ、律法学者は神の国に近づいただけだったのでしょうか。彼は人生の中で神様の簡単な教えは理解したのですが、それを実行しなかったからです。何が正しいかを知ると、神様の教えに近くなります。しかし、正しいことを行なった時だけ、神様の御座の近くに向かうことができるのです。

船に乗り遅れないようにしましょう。素直に神様の道に向かいましょう。——何よりも神様を愛し、あなた自身のように隣人を愛せよ。正しい考えと正しい行いは、あなたを神様の心に至らせます。

讃美歌 320

祈 り アバ父よ。何物にも離されないように、あなたの御そばに連れていってください。あなたの永遠の御臨在の中にやさしく包んでください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ダン・アンダース

カリフォルニア州 マリブ

12月6日(水)

イエス様の恵み

聖書朗読 マルコ 15：1～15

そこでピラトは、彼らに答えて、「このユダヤ人の王を釈放してくれというのか」と言った。ピラトは、祭司長たちが、ねたみからイエスを引き渡したことに、気づいていたからである。
マルコ 15：9～10

ねたみは醜いものです。祭司長は自分がねたんでいると思っていません。彼らは、自分たちが議会にとって一番良いことをしているのだと確信していました。彼らは、むしろ、神様の御言葉を恐れ、清いものとして守らなければならなかったのです。この世は自分の罪に誇りをすら持つている悪の行為者に支配されています。国中がひとまとめにされて地獄に向かっています。

誰かがどこかで線を引かなければなりません。彼らこそ、その任にあたったのです。彼らは最早教会における異端、冒涇、不道徳を容認できなかったに違いありません。彼らが正義——神様の掟——のために立ち上がろうとしなければならなかったのです。

しかし、ここに書かれている祭司長は神様の掟を守る神の人としては、人々に考えられてはいません。彼らは正義の人としても考えられてはいません。むしろ、ねたみの人と思われているのです。祭司長は見かけだけ神様の掟を守っていたのです。彼らは面白いゲームとして語りました。彼らはいかにして群衆に自信を持たせられるかを知っていました。

祭司長たちは熱心にイエス様のために祈る時を持ちませんでしたし、このことに対する神様の御意志に従おうという知恵も持ち合わせていませんでした。彼らは神様からの内なる心を求めませんでした。私たちは、求めます。

自分の考えを行動に起こす前に、どのような行動が御心にかなっているのかを神様にお尋ねしなければなりません。

讃美歌 448

祈 り 聖なる天のお父様である全ての命の支配者、私たちに清い心をお与えください。自分自身よりも他者を心にかけるように導いてください。私たちの心から、ねたみと悪を取り除いてください。それで、自分が求めることでなく、あなたの求めておられることを私たちが行なうことができるでしょう。

イエス様の御名により。アーメン。

メリーアン・バスキン

カリフォルニア州 マリブ

12月7日（木）

あなたは主と結びついていませんか

聖書朗読 詩篇 139:1～16

わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

ヨハネ 10:10

「人生において特に信仰はない」と主張する人々がいます。彼らの見方は現在に限られています。私達の救い主がくださったいのちを見落としているのです。物事がうまくいっている時、彼らの中の誰も感謝しません。また、悲しい時には何の慰めもありません。

私の母と娘は、人生の挑戦の中で、神様の存在がどれほど大きいかを私に示してくれています。1年間腎臓透析をしている私の母は、ひどい痛みと苦しみながら、12日間にも及ぶ6つの外科治療を受けました。母は不平をいうかわりに、讃美歌で神様をほめたたえるほうを選んでいきます。母はいのちを大切にし、神様のために生きようとしています。

また、私の長女は狼瘡（ろうそう、皮膚病の一種）と診断され、30日間入院していました。退院したとき彼女は私に言いました。「お母さん、神様への信仰や希望のない人々がどうするかは知らないけど、神様がおられるのとおられないのとでは全然違うわ。神様がおられない人生は生きていないのと同じよ、存在の意味がないわ。」

イエス様は私達がいのちを得、さらに豊かなものとするために来ました。彼の愛の力は罪や希望を失った世界にとって、あり余るほどに十分なものです。

讃美歌 第二編 56

祈り 聖なるお父様。あなたは私達の日々を数えます。時の歯車を回します。生きている間、私達が、あなたの意志を求め、御言葉を日々の糧とするようにしてください。境遇にかかわらず、あなたの愛、喜び、平安を私達が表わせるように助けてください。永遠のいのちを与え、支えていてくださるあなたを賛美し感謝します。イエス様の御名において。アーメン。

リンダ・バンクス

オレゴン州 ポートランド

12月8日（金）

深い悲しみの中の平安

聖書朗読 イザヤ 43:1～7

しかし、以前は遠くはなれていたあなたがたも、今はイエス・キリストの中にあることにより、キリストの血によって近い者とされたのです。キリストこそ私たちの平和です。
エペソ 2:13～14

私の父は悪性の脳腫瘍で死にかけています。父の身体は苦痛を伴いながら、ゆっくりと悪化してきています。

私の悲しみは週をおうごとに耐え難いものとなりました。感情から十字架への道により頼むようになっていきます。でも、臨終の時の湧き上がるような悲しみを克服することは、とても不可能に思えます。魂は圧倒するような感情に巻き込まれています。十字架への道が私を主イエスの家へ帰るようと呼んでいます。私が愛と慰めを必要としていることを告白するために。

その時私は、「平安にあれ」とはっきりと強く力づけられたのです。それは魂の痛手を超えるものであり、私は再び、神様と手を取りあって自由に歩けるようになりました。悲嘆と損失の最中であって、この平安は、恵みと慈悲と、そして私自身の身勝手な恐れや疑いへの赦しをもたらしてくれるものです。

わたしの目にはあなたは高価で美しい。わたしはあなたを愛している。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたは私のもの。私があなたの神、主、イスラエルの聖なる者。あなたの救い主であるからだ。
イザヤ 43:1, 3, 4（抜粋）

聖歌 463

祈り 私の主よ。あなたは私をよくご存知で、私の必要の全てを満たしてください。あなたはどんな時でもご自身の平安をくださろうとされます。私たちを助けてください。主よ。悲嘆と損失の中でも愛されるように、私たちに必要を告白させてください。

主イエスの御名において。アーメン。

テリー・ハウキンス・スミス

ミシシッピ州 オックスフォード

12月9日 (土)

神の愛に終わりは無い

聖書朗読 詩篇 136 編

私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。 ローマ 8:37

「あなたのお姿を、もし見るのでしたら、私にとって大変な光栄でしょうに」とモーセは神様に言いました。そして神様はついに、聞きとどけられました。「わたしはあなたを岩の裂け目に入れよう。わたしがあなたを通りすぎたら、あなたはわたしのうしろをみるであろう」。モーセにとってなんと栄誉な瞬間だったことでしょう。彼のたいなる願いは、神様がどのようなお姿か、見た時にかなえられたのです。

何年かして、モーセはこの経験を書きました。驚いたことにモーセは、彼が「見た」ものについて一言も語っていません。かわりに、彼が何を聞いたのか。「聞いた」ものについて書き記しました。モーセを最も感動させたのは神様の「天性」でした。神とは神が造られたもの、すなわち神であると。彼はききました。「主よ、主よ、哀れみ深く恵み深き神よ」。神様、あなたは愛そのものです。モーセは誰よりも、そのことを覚えていました。

聖書と人生の両方において、神様から譲られた全ての権利を考えてみれば、神様からの一番すばらしい賜物は、神様が私達の失敗にもかかわらず愛してくださること、だとわかります。歴史をずっとたどってみてください。神様の愛が、まるで羊の群れを世話する羊飼いのように、私達を守ってくださったことがわかります。大きな不幸の中でさえ、神様は私達の内にあって失敗を成功に変えてくださいます。本当に、神の愛は永遠に続くのです。

神の島が空のどこにそのシュロの葉を茂らせているのか

私は知らないけど

自分が漂流するはずのないことは知っている

神の愛と助けがおよぶかぎり

ジョン・グリーンリーフ・フィッティアー

聖歌 88

祈り お父様。私達のために死ねよ、とイエス様をお遣わしになったほどのあなたの愛を、私達が決して忘れませんように。そして、私達も命をかけてあなたを愛することができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

マイケル・タケット

テキサス州 マーケル

12月10日(日)

主の備えをする者

聖書朗読 ルカ 3:1~6

その子はあなたにとって喜びとなり楽しみとなり、多くの人もその誕生を喜びます。彼は主の御前にすぐれた者となるからです。 ルカ 1:14~15

野球ファンなら、ジョージ・ガッセージやデニス・エッカースリーの名前を知っていると思います。2人はメジャーリーグのピッチャーで、「押さえのエース」と呼ばれています。それは、ピッチャーに中でも選ばれた者だけに回ってく役割です。試合がいよいよ大詰めを迎え、あと2つか3つのアウトで試合が終了するかどうかといった危ない場面になると、彼らは登場します。でも普通、こうした「押さえのエース」がマウンドに上がる前の1,2回は、「中つぎ」と呼ばれる別のピッチャーが投げ、「押さえのエース」が試合を終わらせられるように、試合の場面を調整します。調整役のピッチャーには、ファンファーレがたくさん鳴ることはありませんが、彼らは試合の中で、重要な役割を果たします。

同じように、バプテスマのヨハネは、神の国における「前ぶれをする者」、「用意をする者」でした。彼は、「締めくくるお方」、「終わらせるお方」であるイエス様のために、備えをするために試合に立ちました。バプテスマのヨハネの誕生もまた御使いガブリエルによって告知されました。しかし、彼が教えを説いた期間があまりにも短く、突然終わってしまったことは驚くべきことかもしれません。それは、野球の試合の場合と同じように、御国においても、その人がどれだけ貢献したかは、期間ではかられるものではなく、何を成したかによるのです。イエス様がヨハネのことを『女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネのよりもすぐれた人は、出ていませんでした。』(マタイ 11:11)と言われたように、ヨハネは自分の役割を実によく果たしました。

聖歌 298

祈り 主よ。私たちが、この世においてどれだけの期間、あなたにお仕えすることができるのかはわかりませんが、それが長くても短くても、あなたがヨハネのことを喜ばれたように、御国における私たちのささやかな役割を喜んでくださいますように。

イエス様の御名により。アーメン。

デイヴィッド・ラングフォード
テキサス州 ラボック